

## 令和7年度 第4回白井市市民活動推進委員会

1. **開催日時** 令和7年11月14日(金)午後5時30分～午後6時30分
2. **開催場所** 西白井複合センター2階 視聴覚室
3. **出席者** 関口宏聡委員、近藤健司委員、成田秀雄委員、大田茂子委員、富澤賢司委員、菊池由紀子委員、高城久美子委員、篠原美保委員(名簿順)
4. **欠席者** 出川真也委員、川村俊男委員、赤間賢二委員、木下新治委員
5. **事務局** 元田市民活動支援課長、石田主査、伊東主事
6. **傍聴者** なし
7. **議事**  
令和7年度白井市市民団体活動支援補助金採択団体中間ヒアリング結果について[公開]

### 8. 会議概要

#### 1 開会

##### ○事務局

定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第4回白井市市民活動推進委員会を開催します。皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席くださり誠にありがとうございます。

はじめに、委員長からひと言ご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

##### ○委員長

皆様、こんばんは。本日もご参加いただきましてありがとうございます。本日の議題は中間ヒアリングの結果の共有となっております、これも大事な議題ではありますが、この後、しろい de あそ部さんの視察にもお邪魔できるということで、私も楽しみにしています。長丁場というよりは会議があつて、その後視察に行つてまた戻つてくるということになります、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

##### ○事務局

ありがとうございました。

本日の出席委員は12名中8名で過半数を超えておりますので、白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、会議は成立することを報告します。また、白井市審議会等の会議の公開に関する指針により、会議はすべて公開とします。

なお、後日、会議録を作成し公開するため、会議中の発言を録音いたしますので、あらかじめご了承願ひます。また、ご発言の際は必ず挙手し、マイクをご利用くださいますようお願い申し上げます。

それでは、次第の2、議事に移ります。ここからの進行につきましては、委員長にお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

## 2 議事

### 令和7年度白井市市民団体活動支援補助金採択団体中間ヒアリング結果について

#### ○委員長

それでは早速、議事に入っていきたいと思います。本日の議題は一つだけですが、令和7年度に採択されました白井市市民団体活動支援補助金の採択団体の中間ヒアリング結果についてご報告いただき、それに対してコメントを皆さんからいただき、という形になっております。それでは事務局からご報告をお願いいたします。

#### ○事務局

それでは事務局からご報告いたします。ここでは、今年度に白井市市民団体活動支援補助金を受けている団体を対象に実施した中間ヒアリングの結果について、簡単にご報告させていただきます。資料1と資料2をご準備ください。資料1は中間ヒアリングの実施結果をまとめたもの、資料2は中間ヒアリング実施に際し、事業の進捗状況などを採択団体からご回答いただいたものをまとめたもので、ヒアリング時に使用した資料でもあります。資料2について本日は説明いたしません。各団体の活動状況について詳細に記載してありますので、このあとの質疑や意見を出していただく際の参考にしていただければと思います。

資料1をご覧ください。はじめに1、中間ヒアリングの概要についてです。中間ヒアリングは10月27日に、今年度補助金を受けているひだまり食堂、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会、しろい de あそ部の3団体を対象に、市役所の会議室で行いました。ヒアリングの目的は、上半期の補助事業の進捗状況や補助金の活用状況、下半期の活動計画等を確認し、補助事業の円滑な実施及び市民団体の自立を支援することであり、具体的には、④内容に記載のとおり、(1)補助事業の進捗状況、(2)補助金等の活用状況、(3)審査コメントへの対応状況、(4)団体活動の活性化と自立の課題、(5)令和8年度の展望と、計5項目について団体にお伺いしました。当日の出席者は8名で、ひだまり食堂から●●様、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会から●●様と●●様、しろい de あそ部から●●様に出席いただき、市民活動支援課からは職員4名が出席しました。

次に2、中間ヒアリングの結果についてです。資料2をもとにヒアリングを実施したところ、(1)補助事業の進捗状況、(2)補助金等の活用状況、(3)委員からの審査コメントへの対応状況については3団体ともおおむね実施できておりました。「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会については、ヒアリングの時点で補助事業をほぼ終了し、補助金は使い切っている状況です。

(4)団体活動の活性化と課題については、3団体に共通する課題として、スタッフの確保が挙げられました。昨年度の中間ヒアリングでも担い手不足が共通課題として挙げられたため、多くの市民活動団体の課題となっている様子がうかがえます。

(5)令和8年度の展望については、ひだまり食堂としろい de あそ部は今年度実施しているような定期開催イベントを継続して実施することを、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会は今年度実施したアンケート調査結果をもとに、白井市へ公共交通問題改善についての提言、

またユニバーサルツーリズムの企画を予定しているとのことでした。各団体、来年度以降も活動が続いていくことを前向きに考えていることがうかがえました。

最後に、3、特記事項についてです。ここでは、団体から出た意見の中で、特に委員の皆様へアドバイスをいただきたいことを記載しております。大きく分けると「参加者募集に関して」と「スタッフの確保に関して」の2つについて、意見がございました。「参加者募集に関して」は、3団体ともに事業実施に際して予約受付フォームを使用しているとのことでしたが、定員管理が難しく、調整が可能なツールがあれば活用したいという意見がありました。例えばひだまり食堂では、定員を20名としており、Google フォームを使用して予約を受け付けていますが、定員に達したら自動で受付フォームを閉鎖するなどの機能がないため、手作業で管理しているとのことでした。

また、「スタッフの確保に関して」は、①しろい de あそ部の「華金！しろい de あそばナイト」での軽食提供は人員不足のために実施できていないということと、②ひだまり食堂(子ども食堂)については、ボランティアセンターを通じてボランティアを募集したところ、希望者は多かったものの、ミスマッチが生じたとの発言がありました。具体的には、ひだまり食堂は居場所づくりや世代間交流を事業の目的として活動していますが、ボランティア参加者については貧困の子どもを助けたいという応募動機で希望される方が多く、ボランティアの継続には至らなかったとのことでした。以上から、ボランティア参加希望者と団体とのニーズのミスマッチ解消に向けて支援を求める意見がありました。

中間ヒアリングの結果報告は以上となります。皆様には、中間ヒアリングの結果に対する意見や感想、特記事項に関するアドバイスなどございましたら是非ご意見をいただきたいと思っております。

事務局からの説明は以上です。

## ○委員長

ありがとうございました。詳しい内容については、資料2をご覧くださいと、もっと細かい概要が書かれておりますので、そちらも踏まえると良いと思っております。おおむね皆さん順調に進んでいるというのが分かって良かったです。

それでは本日欠席の●●委員からコメントが寄せられているので、先にそちらを聞いて、その後皆さんに聞きたいと思っております。

## ○事務局

事務局から報告させていただきます。

まずひだまり食堂についてのコメントです。「ボランティアと団体ニーズのマッチングは、事業の今後の継続に対して、人材の持続性にもつながる重要な要件だと思われまます。また、当該団体においては、食事の提供だけでなく、様々なプログラム、イベント活動を行うことの重要性も認識しているようです。そのような活動を担える人材の募集・育成のための仕組みを団体内だけでなく市からも支援することが事業促進につながるものと思っております。まちづくりサポートセンター等を通じて人材バンクを構築し、効果的に市民活動団体間の人材のマッチング支援を行うなどの取り組みを検討することがで

きないでしょうか。」

続きまして、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会へのコメントです。「一定の集客があり、市民の関心度の高いことが判明してきているようです。アンケート結果を詳細に分析し、ニーズを掘り起こすとともに市民に広く公開・発信する取り組みが今後大事ではないかと思います。ハード設備等の導入検討とともに、そのハードを生かすソフトの取り組みや、担い手人材の掘り起こし・育成が大事な段階に入ってくると考えられますので、そのための取り組みに着手していくことが重要かと思います。」とのコメントをいただいております。

最後に、しろいdeあそ部に対してのコメントです。「過年度より、本補助制度・審査制度での指摘や知見を踏まえて活動を展開してきており、当制度の理想的な活用・運用団体の一つではないかと思っています。子ども食堂・福祉関連団体・文教系団体など隣接する他の市民団体と連携することで活動の幅が広げられるものと思います。特に軽食堂については、子ども食堂関連の団体と連携することで持続的・安定的な実施の可能性が高まるのではないかと考えられます。そうした点からも団体間の得意分野やリソースを交換し合い相乗効果を高められるようなマッチング支援や、そのための人材育成支援等をはじめとして、市で仕組みとして検討する必要があるのではないかと思います。」

以上が●●委員からのコメントとなります。

#### ○委員長

ありがとうございました。

本日の会議の時間としては18時半までと予定はしていますが、早く終わったら18時以降であればしろいdeあそ部さんも活動を開始されているということですので、長くても18時半まで、早ければ18時までぐらいの時間で、皆さんからご自由に意見やアドバイスを頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。

#### ○●●委員

よろしいでしょうか。

ひだまり食堂についてですが、ボランティア希望者が多いものの、会と希望者の参加動機にミスマッチが生じているとのことでしたが、今聞いた話ですとやりたいことが居場所づくり・世代間交流とのことですので、そういったことをメインにやっていくのがよろしいのではないかなと思います。

私も以前、子ども食堂のお手伝いをしていたこともありますので、やはり、居場所づくりとか世代間交流とかそちらが良いのではないかと思います。以上です。

#### ○委員長

ありがとうございます。

子ども食堂も色々ありますし、それぞれの団体さんの方針があると思いますが、ひだまり食堂さんは貧困対策を前面に押し出してしまうとスティグマになってしまうので、

人が来づらくなってしまふからというところですよ。あそこの食堂に行っているから貧困であるというように捉えられると。

別に貧困対策として実施する子ども食堂があってももちろん良いのですが、そういう問題もすでに指摘はされているので、ひだまり食堂さんとしてはそういうことではなく、世代間交流というところも目的としているということをおっしゃっているので、うまくマッチングできるとよろしいですね。

### ○事務局

今回そのような事例が生じてしまったので、ひだまり食堂さんとしても団体のホームページ上には多世代交流とかをやっている子ども食堂です、ということに記載しているということをおっしゃっていました。

ボランティアセンターでボランティアをしたいと思った人たちがそういったところを事前に確認するとき、自分の動機とは違うとわかるということで、改善に向けた取り組みはしているとおっしゃっていました。

### ○委員長

そうですね。この事業のヒアリングだけで言ってしまうと、この3団体の中からというような話になってしまいますが、白井には他にも市民団体がありますし、我々が関わったところで言うとSTEPさんなどがまさにそういうところではあるので、是非頑張ってもらいたいと思いました。

ほか、いかがでしょうか。どうぞ。

### ○●●委員

ひだまり食堂さんが今頑張っているということですが、子どもの貧困はあまり表に見せない方がいいと個人的には思っています。あと、食堂でご飯を食べさせるだけではなくて遊ぶこともやっているとお聞きしたのですが、しろいdeあそ部やそういう団体とコラボすると、また別の形のものが生まれてくると思っております。

それともう一つ、グリーンスローモビリティの実証実験に関するものは実際に作ってもらってですね。やはり市の中でもいろいろなところでこういうものが必要になってくると思うので、私どもも関心はありますが、実際に手を出すとするとそういうところから始めた方が良くというのが悩んでいるところなので、まちづくり協議会などそういうところでコラボできたら良いと思っておりますが、やり方やスタッフ、資金源の問題などいろいろありますので、これも見せていただきたいと思います。

### ○事務局

記憶が曖昧ですが、委員長から以前に団体間の連携を意識する必要性をアドバイスいただきましたので、3団体、すべての採択団体のヒアリングを同時に開催しております。

ヒアリング当日に、おそらく、しろいdeあそ部とひだまり食堂が連絡先を交換していたように見えたので、そういう意味ではヒアリングの場が採択団体に限られてはいますが、情報交換の

場になっているのではないかと考えています。以上です。

#### ○委員長

ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

#### ○●●委員

2点ございます。まず1点目はひだまり食堂さんのところで、先ほどお話しがありましたが、募集の際のコメントで、子ども食堂と謳うとやはり貧困への支援のイメージで集まってしまうというような状況になると思います。おそらく応募する人はそれしか情報がないので、この表現を変えていったら応募する層も変わってくると考えておりました。すでに取り組みされているということだったので、来てほしい方を引きつけるようなキャッチコピーとかが考えられるとより良いと思いました。

あと、しろいdeあそ部さんの軽食提供のところは、夜間の活動なので、おそらくその時間帯に出られる方のターゲットとか、入りづらそうな印象もあるので、どういう方に来てもらえそうかというところを絞って募集をかけたら良いと思いました。以上です。

#### ○委員長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。どうぞ。

#### ○●●委員

私もひだまり食堂さんについてなのですが、例えば、私たちもしろいワクワクひろばという名前で子ども食堂をやっております。

私たちのメインは畑作業で、ほぼ週4日ぐらい、ボランティアの男性の方が3、4人来てくださって、畑作業をやっていただいて、私たちは月1回収穫に行くだけという状況です。

子ども食堂という名前の取り組みは毎月ではないですが、1年に3、4回ぐらいお弁当を作って例えばジャガイモを収穫したときであればカレーを作って、秋にはきのこご飯、春にはたけのこが出るので、たけのこご飯とかを作ってお持ち帰りしていただくというように私たちはやっております。

子ども食堂は、以前は貧困の子どもを対象に始めたと思います。ただ、今は私たちも多世代交流、0歳児からお年寄りまで皆で畑の作業をやりましょうというようにやっております。あとは、冬は畑の収穫もありませんし寒いということで、クリスマス会をして、そこで腹話術を披露していただいています。これからやろうと考えていることだと、絵本の読み聞かせなどをsketch倶楽部さんの力を借りて実施していきたいと考えております。また、コミュニティセンターをよく利用させていただいて、暑い夏にはばらっぱまんじゅうを親子で1人1、2個作るということもしております。

#### ○委員長

ありがとうございます。

先輩から学ぶということでお話ありました。近くに畑があれば、自分たちで採った作物で料理するとありがたみを感じられるかもしれないので、ぜひそんなことも考えていただければと思います。

ほか、いかがですか。

## ○●●委員

ひだまり食堂さんとしろいdeあそ部さんに関しては、誰でもなんとなくどんなことをやっているのかが分かっている方が多いように感じっていますが、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会さん、特にグリーンスローモビリティに関しては、これはどんなことをやっているのかと聞かれることが多いです。もし白井でグリーンスローモビリティをやったとしたら、それでどこまで行けるかなど、いろいろなことを聞かれますがお答えできない状況でした。団体さんが大体このくらいの規模感からこんな風に始めて、どんな風にしていって、いろいろ広げていきたいと思っていらっしゃるのか、それとも人がいないから、同じ人たちで午前中はこのルートを回って、その後こっちのルートも回ろうと思っていらっしゃるのかということが聞きたいと思いました。

あと、グリーンスローモビリティが普通に車道を通るのかと不安に思っている地域の方もいらっしゃいました。グリーンスローモビリティ専用の道ができるのかとかいろいろ聞いてきますが、わからないので答えようがないというところでは。

なので、もう少しイメージがつかみやすくなるような取組をしてほしいと思いました。以上でございます。

## ○委員長

ありがとうございます。

私が答えられることではありませんが、この実証実験が16日から30日に行われる予定と伺っております。しかも、チラシを拝見するとまちボラひろばでもグリーンスローモビリティの試乗があると書いてありますので、30日のフィナーレとしてこれをやるのかと思いました。実際乗ってみるのも良いと思いました。

我々が補助したのはあくまで実証実験の前座の講演会でありますので、それは御留意いただいといるところですが、事務局で何かお分かりになることがあればお願いします。

## ○事務局

委員長にご説明いただいたとおり、補助を出したのはあくまでこの東京都市大学の先生をお招きして講演会をやるという部分です。講演会は事務局もお伺いさせていただいておりまして、会場の中ホールに参加者が100人くらいいらっしゃいまして非常に盛況でした。

その中で先生がおっしゃっていたのが、運転手がとても不足していて、そういうのを全部完備した新しい公共交通を考えていかないと、事業者だけが経営目的で続けていくこともできないし、どうすれば市が補助金を出して対応できるかという、そういうものでもないよ、というのを訴えていたのが私は印象的でした。そういう意味でこういう会はいろいろな方にこの間の公共交通の在り方をどう考えていくのかというメッセージというのは伝わるものがあったと思います。

もう1個は委員長の方からのフォローをいただきましたが、グリーンスローモビリティの実証実験の方は、市の都市計画課がバックアップをして実証をこれからまさに日曜日からやっていくということで、もしスマホで市の公式LINEにご登録をいただいているようでしたら、今日タイムリー

に市からのお知らせということで発信をしておりますし、市役所の中でもこういうチラシなどを少ないですが配布はされておりますので、これをご覧いただければ内容は御承知いただけると思います。ルートも記載されておりますので、皆様もし興味がありましたらご乗車いただいて、お話を聞いていただく、ということをやっていただけるとありがたいと思います。以上です。

#### ○委員長

ありがとうございます。ホームページで車両を拝見しましたが、結構カッコいいです。車椅子の方も写真に写っていらっしゃいますので、車椅子も一緒に乗車できるタイプでしょうか。ほかはいかがでしょうか。

#### ○●●委員

残念なことに、ひだまり食堂さんもしろいdeあそ部さんもそうですが、どうしても担い手不足というところが、どんな活動でも発生している問題なのだと感じました。

白井の場合には、まちづくり協議会が今4つの小学校区で設立され、1つの小学校区で設立の準備ということで取組が広がっているようですので、その団体でいろいろなことをやるために人がいないのであれば、それぞれ活動されている方々にお手伝いをいただきながら活動を継続していこうというのがまちづくり協議会の一つの狙いであるかと思っておりますので、早くまちづくり協議会が自分の小学校区でもできればいいと思っております。

ひだまり食堂さんはある程度定員が決まっているということで、リピーターの方が大半を占めているのかなというところで、新規の方のニーズに対応してもらえたら良いと思いますね。やはり、担い手がいないから受入人数を増やせないという課題も出ていると思うので、非常に残念だと思っております。特に質問とかではありませんが以上です。

#### ○委員長

ありがとうございます。続いて●●委員、どうぞ。

#### ○●●委員

私の感想ですが、子ども食堂に10年近く前に初めて寄ったことがありまして、やはりその時の自分が貧困の子どもたちが行っているというイメージでした。ただ実際行ってみると、部活帰りの中学生が来たり、小さい子どもを連れたママが来ていたりということで、そこで世代間というかいろんな交流ができていたのだとすごく感じました。

現代では居場所があることはとても大事なことだと思っています。それは若い子だけではなく、高齢者も、特にコロナ禍があってから高齢者の方が外に出ることができなくなってしまって、そこで社会と地域とのつながりが薄くなってしまった、健康維持もできなくなったという話を聞いていますので、今、ひだまり食堂さんなどの子ども食堂が、みんなの居場所づくりをこれからもどんどんしていただけたらありがたいと思います。

#### ○委員長

ありがとうございました。

#### ○事務局

事務局から質問ですが、Googleフォーム以外で参加者を募集するとか、定員管理ができるようなもの、そのあたり何か特に参加者を集めるような取り組みをされている方で、アドバイスがもしあれば、教えていただけるとありがたいと思います。

### ○●●委員

私もGoogleフォームを使っています。

小学校の体育館を使っているので、人がたくさん来ても大丈夫なので、来てくれれば受け入れています。

ともだち大作戦という取り組みで、未就学児と保護者の方同士のつながりを作るということで、大山口小学校区とその近くにある保育園と幼稚園を回ってチラシを配っています。Googleフォームならば、若い人はみんな使えますが、高齢者は難しいです。以上です。

### ○委員長

ありがとうございます。

私も調べた範囲だと簡単なスクリプトを入れればGoogleフォームで定員管理ができるようです。

私はまた別のサービスを使っています、PETIXっていうサービスを使っています。イベント管理サイトのようなものです。会員登録が必要となるため若干ハードルがありますが、定員管理もできますし、販売もできるので有料イベントでも使えます。

ただ、ひだまり食堂さんの規模間だとややオーバースペックになってしまうと思いますので、そこは御留意いただいてという形になると思います。ある程度参加者があるようなイベントだったら結構おすすめです。

### ○事務局

ありがとうございます。団体の希望としては、会員登録をせずにできるものがあれば、ということでしたので、参考にさせていただきつつ、他にも探してみたいと思います。

### ○委員長

そうしましたら、ちょうどお時間も頃合いとなりましたので、本日の議題は以上とさせていただきます。皆さんからの温かいご意見をありがとうございました。

あと半年、この3団体さんも頑張っていたいただければと思います。それでは事務局にお返しします。

### ○事務局

この後実施するしろいdeあそ部の事業見学についてご説明いたします。

この後準備が整いましたら、皆様一斉に会場の方に移動します。見学は大体20分を想定しています。

見学が終了しましたら一度、こちらに皆さんで戻って感想を5分ほどお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

感想をお聞きした後に解散いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

## 事業見学終了後

### ○事務局

そうでしたら事業見学の感想をお伺いできればと思います。委員長に進行していただいてもよろしいでしょうか。

### ○委員長

それではどなたかいらっしゃいますか。はいどうぞ。

### ○●●委員

実際にイメージしていたのと全然違いました。見学できてよかったと思います。

気楽に子供も来ると言っていましたが、実際にあれだったら誰でも行ける。子供も来たり、お母さんも来たり、いろんな人が交わる場所が良いと思いました。毎月2回定期的にやっているとのことなので、そこに行けば遊べるとか、自分の気持ちがそこに行くと出せるとかありますから、いいと思いました。

他にもセンターにも出てきてくれるという話がありましたので、引っ張りだこで大変かもしれませんが、私もお願いしようかと思っておりました。

### ○委員長

ありがとうございます。他にどなたか意見ございましたら、お願いします。

### ○●●委員

知っている人がいまして、今日は小学校2年生の娘さんと一緒に来ているんだということで、本当に常連でいつも来ているそうです。何時までいるの?と聞いたら、娘が眠くならなければ最後までいるとおっしゃっていましたが、お子さんもすごい楽しんでると喜んでいましたので、やはりこういうセンターは基本飲食禁止なので、雰囲気固い公共の場所でやるよりも、あぁいったところでやった方が人の動きもあるでしょうし、ちょっと入ってみようか、ということもできるし、続々と子どもたちも来てたので、素晴らしいところでいい活動ができていると思いました。

### ○委員長

ありがとうございます。他、ご感想はある方、いらっしゃいますか。はいどうぞ。

### ○●●委員

富士センターにも来ていただいたのですが、おっしゃる通りだと思います。

公共の場でやるよりも、今日見たような自分だけの基地みたいなところに入って行って、知り合いでもない人と遊んでみようというのがすごくいいと思いました。何年も続けていらっしゃるとおっしゃっていたのが、それが一番素晴らしいことだと思っていて、今後ともぜひ続けていただきたいと思いました。以上でございます。

### ○委員長

ありがとうございます。他はいかがですか。それでは最後に私から。

私は噂どおりの素晴らしい活動で、皆さんおっしゃる通り、もちろん小学生などが来ていただいていると思いますが、高校生の居場所がこの前の若者会議でも、実際、高校生側から勉強す

る場や居場所が欲しいという声が、白井高校の高校生の方々からのご意見で出ていましたので、公共施設を居場所にするというのも一つの考え方だと思いますが、先ほどお話があった通り、やはり民間団体が一枚かむことによって、民間の場所で居場所を作るという高校生たちのある意味健全なたまり場みたいなところを用意してあげるというのもよいだろうと思いました。また、あの場所が持っている独特の雰囲気にも価値があると思ったので、あそこを基点に、何か他の動きもできるのではないかという気がしました。

皆さん、ぜひこの会議が終わりの際に参加していただけたらいいかと思いました。

それではこちら辺で委員会の方を終わりにできればと思います。本日はご出席いただきましてありがとうございました。